

●日本海新聞「ぶらり各駅停車・山陰線」で福部駅が紹介されました。

日本海新聞・令和5年3月9日（木曜日）

(21) 広域 2023年(令和5年)3月9日 木曜日

## ぶらり各駅停車 「山陰線」編④

### 福部

ふくべ

東京 岩美 大岩 福部 鳥取 湖山 鳥取駅前 末恒 宝木 浜村 岡谷 泊 松崎 倉吉 下北条 由良 浦安 八幡 赤崎 中山口

ふるさとワイド

とっとり東中部・中海圏域

本社 山陰新聞社  
中部本社 山陰新聞社



鳥取市福部町総合支所や郵便局、義務教育学校などに近く、旧福部村の中心部にある福部駅。駅舎には昨秋、鳥取砂丘や梨の木、紫色の花を咲かせたらつきよう畑が壁面に柔らかなタッチで描かれた。山を背にぼつりとたたくむ小さな無人駅の新たな「顔」として利用客を迎え入れている。

同駅は1910年に「塩見駅」として開業。72年に無人駅となり、87年の国鉄民営化で現在の小規模な駅舎に改築した。特産のらつきようや梨を運ぶための引き込み線が備わっており、当時は観光や貨物利用などでにぎわいを見せた。

モーターリゼーションの進展に伴う車社会の到来で、



改修を終えたばかりの福部駅。かわいらしい少女と名所を描いた壁面が利用者を迎え入れる

**メモ** 鳥取市福部町栗谷  
1910年10月10日開業  
1日平均乗車数58人

今は乗降客のほとんどが通学利用の学生だ。2022年、町の玄関口として話題性の創出や魅力向上を目指し、地域の住民団体が中心となり駅舎周辺

の環境整備が始まった。駅舎壁面は、同町出身のイラストレーター、伊吹春香さんに依頼し、町をイメージしたイラストを描いてもらった。駅前ロータリーには木製の小さなベンチも設置。駅利用者からは「全体的に明るい雰囲気になった」「ここで汽車を見るのが楽しみ」と好評だ。

駅から少し離れた場所にはなだらかならつきよう畑が広がり、鮮やかな紫色の花は10、11月ごろに見頃を迎える。汽車に揺られた後は市社会福祉協議会が運営する循環バス「らつきちゃんバス」に乗り換え、町内の名所をゆっくり散歩するのもお勧めだ。(荒尾京香)

町の魅力描いた駅舎



らつきよう畑を望めるホーム。豊かな自然が広がる

米子 東山公園 伯耆大山 淀江 大山口 名和 御来屋 下市



